

2023年9月13日

観光庁長官殿

全国通訳案内士試験の適正な実施についての要望

日本通訳案内士団体連合会
会長 米原亮三

本年8月20日に実施された全国通訳案内士試験については、通訳案内士試験のガイドラインに基づく適切な対応をされるよう、下記のとおり要望します。

記

◎要望事項

全国通訳案内士試験ガイドラインに基づく検討会の開催を要望します

◎根拠となるガイドライン

・実際の平均点が、合格基準点から著しく乖離した科目については、当該科目の試験委員と試験実施事務局から構成される検討会を開催する。その結果、必要があると判断された場合には、合格基準の事後的な調整を行う。この調整は、平均点の乖離度及び得点分布を考慮して行う。」

◎理由

本年も、8月20日(日)に実施された全国通訳案内士試験では、日本地理及び一般常識の試験で、難問・奇問が続出しました。私達、通訳案内士試験指導教室の受験生に対するヒアリングでは、受験者の平均点は、極めて低いと推定されます。

2017年以前は、「検討会」による「合格基準の事後的な調整」は、毎年のように実施されてきましたが、2018年以降は、ほとんど実施されていないと推定されます。

新型コロナウイルス感染症によるインバウンドの低迷期を経て、現在、通訳案内士試験は受験生離れ、実施主体の赤字などの課題があります。

また、インバウンド再開後、旅行業界の通訳案内士に対するニーズは高く、供給不足の状況にあります。

このようななかで、「合格基準の事後的な調整」なしで、合格判定を行うことは、合格者の減少、試験に対する信頼感の喪失を招き、さらに問題を深刻化させる恐れがあります。

つきましては、ガイドラインに基づいて、当該科目の試験委員と試験実施事務局から構成される検討会を開催していただくよう、切にお願いいたします。

◎ 理由の説明

第1 通訳案内士に対するニーズについて

1 減少する通訳案内士受験者

2017年以降、毎年、受験者が減収している。観光庁においては、受験生が減少するので、受講料の値上げを検討せざるを得ないとしている。

西暦	年号	受験者数	受験者数/ 2026年	合格者数	合格者数/ 2026年	合格率
2016年	平成28年	11,307	100%	2,404	100.0%	21.3%
2017年	平成29年	10,564	93.4%	1,649	68.6%	15.6%
2018年	平成30年	7,651	67.7%	753	31.3%	9.8%
2019年	令和1年	7,224	63.9%	618	25.7%	8.5%
2020年	令和2年	5,078	44.9%	489	20.3%	9.6%
2021年	令和3年	3,834	33.9%	347	14.4%	9.1%
2022年	令和4年	3,472	30.7%	571	23.8%	16.4%

出典 日本政府観光局発表資料

2 通訳案内士の不足

日本のある大手旅行会社から、通訳案内士団体に以下のメールが寄せられている。

「富裕層 FIT、欧米シリーズツアー等で英語ガイドが全く足りておりません。」このような悲鳴に似た声が、インバウンドを取り扱うほとんどすべての旅行会社から寄せられている。

また、通訳案内士団体(IJCEE)では、「本年2月11日から4月21日の間で、ガイドの派遣依頼は、2561件であった。うち、1554件には、対応したが、1007件は、対応できなかった。」と観光庁に報告している。

以上のように、今年の春は、ガイド不足がインバウンドの障害となっている。

しかし、日本政府観光局(JNTO)の調査によると、2023年4月の訪日外客数の総数は、対2019年比で、66.6%の水準に過ぎなかった。英語圏でみると、イギリス82.0%、米国108.0%、豪州79.6%と、8割程度であった。にも拘わらず、以上のように、通訳案内士の不足がインバウンドの障害となった。

さらに、本年7月の訪日外客数の総数は、対2019年比で、77.6%まで回復している。これを英語圏の国別でみると英国93.3%、米国126.7%、豪州102.1%と2019年の水準まで回復している。

新型コロナウイルス感染症後のインバウンドの回復傾向は、堅調である。

第2 試験問題の振り返り

1 日本地理について

(試験のガイドライン)

・ 試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する日本地理についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問うものとする。

◆以下に、6題の難問・奇問を掲載する。ほかにも4題の難問(問13、問14、問22、問24)があった。合格点が70%以上とされており、30題中10題もの難問は、適切な国家試験とは言えないと考える。

問題6

問題	○富山県立山町は、日本一の急流とされる(b)によって形成された扇状地上に中心市街地がある。bを次から1つ選びなさい。 ①黒部川、②庄川、③常願寺川、④神通川 答え ② 常願寺川
コメント	4つの河川はすべて、北アルプスを源流として、富山湾に流れています。常願寺川が日本一の急流とされていますが、常識とはいえず、多くの登山家にとって、黒部川の急流の方が有名です

問題7

問題	○立山信仰の拠点は、(b)中流に展開する宗教集落である(c)にある。cを次から1つ選びなさい。 ①芦峯寺、②勝興寺、③瑞泉寺、④本證寺 答え ① 芦峯寺
コメント	芦峯寺は、現在では、知名度が低い。例えば、じゃらん立山駅周辺の観光スポットでは、40位以内で紹介されていない。地元の通訳案内士でさえ、出題に疑問を寄せている。

問題8

問題	○香取市の市域中部から南部にかけては(a)台地。aを次から1つ選びなさい。 ①上総、②下総、③常陸、④武蔵野 答え ②下総
コメント	下総台地は、千葉県民でも必ずしも知らない名前。九州や北海道の人も受験する問題と

	<p>しては、不適切。 ※千葉県職員に尋ねても、正解が得られなかった。難問というより、奇問である。</p>
--	--

問題 9

問題	<p>○長野県東御市は、県東部に位置する。市域の中心部を(a)が東西に流れている。a を次から1つ選びなさい。 ①木曾川、②犀川、③千曲川、④天竜川 答え ③ 千曲川</p>
コメント	<p>東御市は、小県郡東部町と北佐久郡北御牧村の2町村が合併して、平成16年4月1日に誕生した。発足時の人口は約32,000人である。受験生の大半が知らないと推定される。</p>

問題 16

問題	<p>○ (b)は、京都の「大文字山」として知られる。b を次から1つ選びなさい。 ①鞍馬山、②天王山、③如意ヶ嶽、④比叡山 答え ③ 如意ヶ嶽</p>
コメント	<p>鞍馬山、比叡山ともに。京都市内から北方の山であり、如意ヶ嶽という地名は、基礎的な知識とは言えない。</p>

問題 28

問題	<p>○沖縄の宮古島の東端には約2kmにわたって続く細長い岬である(b)がある。b を次から1つ選びなさい。 ①御神崎、②喜屋武岬、③東平安名崎、④辺戸岬 答え ③ 東平安名崎</p>
コメント	<p>選択肢は、すべて沖縄県内にあり、特に、御神崎は、石垣島である。東平安名崎という地名は、基礎的な知識とは言えない。</p>

2 一般常識について

(試験のガイドライン)

・ 試験は、現代の日本の産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識（例えば、試験実施年度の前年度に発行された「観光白書」のうち、外国人観光旅客の誘客に効果的な主要施策及び旅行者の安全・安心確保に必要となる知識、並びに新聞（一般紙）の1面等で大きく取り上げられた時事問題等）を問うものとする。

◆以下に、2題の難問・奇問を掲載するが、ほかにも5題以上の難問があった。合格点が60%以上とされており、19題中7題もの難問は、適切な国家試験とは言えないと考える。

問 8

8. 政府は、海外から優秀な人を招き入れ日本企業の競争力向上につなげるため、日本で働く高度外国人材を増やす新たな受入策を講じた。受入策の説明のうち、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3点)
- ① 世界大学ランキングの上位校の卒業者が就職活動で滞在できる期間を現行の90日から最長180日に延ばす。
 - ② 年収2,000万円以上の研究者らは、入国時に永住権が得られる仕組みを定める。
 - ③ 高度専門職として認められ、さらに一定の条件を満たした場合、外国人使用人を最大2名まで雇用することができたり、配偶者がフルタイムで働くことができる。
 - ④ 高度専門職として認められた外国人材は、国籍別では2021年末時点でインドが66%、2位が中国(6%)、3位の韓国(4%)であった。
- 8

答え③

◆コメント

外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識とは言えない。

問 17

15. 2022年3月に国土交通省は、東京地下鉄株式会社「(ア)の延伸」に係る鉄道事業許可について、申請どおり許可することを決定した。空欄(ア)に当てはまる組み合わせとして正しいものはどれか。次の①～④から選びなさい。(3点)
- ① 東西線・日比谷線 ② 有楽町線・南北線 ③ 銀座線・日比谷線 ④ 有楽町線・半蔵門線
- 17

答え③

◆コメント

外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識とは言えない。地下鉄の社員に、延伸計画を尋ねたところ、正確な回答はなかった。

このような知識を一般の通訳案内士が持つべき知識とは思えない。

第3 来年度以降の制度の是正についての要望

来年度以降の課題としては、次の事項があり、観光庁で実施予定の検討会等で検討してほしい。

- 1 一次試験の合格科目の有効期間を翌年の試験まででなく、期限を廃止して欲しい。
- 2 1次試験の地理と歴史について、他の国家試験とのバランスを踏まえて、合格ラインを6割程度にしてほしい。
- 3 試験問題の難問や奇問を減らしてほしい。
- 4 問題の適正化をはかるため、一次試験の内容をチェックする試験委員に、経験豊富な通訳案内士を指名してほしい。